

## ホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌における術前化学療法の効果に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年12月11日～2024年12月31日

### 〔研究課題〕

ホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌における術前化学療法の効果の検討

### 〔研究目的〕

ホルモン受容体(HR)陽性乳癌は HR 陰性乳癌に比して化学療法に対する感受性が低い可能性が指摘されています。また、HR 陽性乳癌ではpCR が予後因子にならないという報告もあります。そこで当院で化学療法後に手術を行った HR 陽性 HER2 陰性乳癌症例についてpCR 予測因子とpCR が予後因子になるかについて検討します。

### 〔研究意義〕

pCR 予測因子とpCR が予後因子になるかどうかわかれば、予後改善が期待できます。

### 〔対象・研究方法〕

2006年2月から2023年6月までの期間で、対象症例はHR陽性HER2陰性乳癌で術前化学療法を施行したStage I-IIIの症例です。化学療法はアンシクリンとタキサン順序投与を基本とします。pCRは、原発巣の浸潤癌の消失とリンパ節転移の消失の両方(y<sub>p</sub>T0/is y<sub>p</sub>N0)と定義し、pCR予測因子として臨床病理学的因子を解析します。

### 〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

### 〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、情報の加工を行います。研究終了後に情報を帝京大学臨床研究センターに提出し、同センターで10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 神野浩光 職名 帝京大学医学部 外科学講座 教授  
所属： 帝京大学医学部 外科学講座／帝京大学医学部附属病院 外科  
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1231(代表)